

ポロニア

ポロニアは黒花「桐」の学名です

第28号

2012-7
平成24年
7月

発行・岩手県高等学校PTA連合会（事務局）盛岡市上田三丁目2-1岩手県立盛岡第一高等学校内 TEL・FAX(019)625-6386 [E-mail] iwa_koupren@ybb.ne.jp

24年度
定期総会

連携密に諸活動推進

事業計画など7議案決定

松尾会長
を再任

平成24年度定期総会並びに研究協議会は、6月6日午後0時30分から盛岡市のサンセール盛岡で開催されました。総会には、各校のPTA会長、副会長ら約250人が出席。平成24年度事業計画、同収支予算、同役員選出など7議案を審議、決定しました。会長には松尾正弘氏（盛岡第一高校PTA会長）を再選。総会では、第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会開催への取り組みについての議案も承認され、今年度は準備委員会を発足させて開催準備を進めていくことになりました。

松尾会長は「本日は、たくさん

このように盛大に総会が開催されますこと、ほんとうにお礼申し上げます。総会の議事と研究協議、さらに講演、このあと教育懇談会と盛りだくさんの内容となっております。よろしくお願います」と挨拶しました。

このあと表彰に移り、松尾会長から個人表彰58人と第16回広報紙コンクール入賞校8校の代表者、それに23年度に募集した震災復興支援・心のケアに関するポスターおよび標語コンクール入賞者12人の代表者に表彰状が贈られました。



約250人が出席して開かれた定期総会並びに研究協議会



広報紙コンクール入賞校を代表して表彰状を受け取る大船渡高校

全国高P連岩手大会開催へ準備

定期総会で第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会開催に向けての取り組みについての議案も承認されました。岩手開催は、今年

2月の全国高P連の総会で決定したもので、これにより開催に向けての取り組みを進めることになりました。

岩手大会は、平成27年8月19日から21日までの日程で滝沢村の産業文化センター・アピオをメイン会場に開催されます。全体会や7

分科会、記念講演などを予定。参加者は約1万人が見込まれています。

今年度は準備委員会を発足させ、日程や会場、大会テーマなど、開催に向けての具体的な準備に入ることになります。

来賓祝辞では、菅野洋樹県教育長、高橋和雄県高等学校長協会会長（盛岡第一高校校長）、鈴木寛隆県PTA連合会副会長（米沢慎悦会長代理）から祝辞をいただきました。

このあと、澤口修釜石高校PTA会長を議長に選出し議事に入りました。提案された議案は、平成24年度事業計画、同収支予算、同役員選出、平成27年度全国高等学校PTA連合会大会岩手大会開催に向けての取り組みなど7議案。事務局から提案理由が説明されたあと審議に入り、いずれも原案通り承認されました。

研究協議（行政説明）では、①被災地における通学に係る公共交通機関の状況について（県教育委員会事務局学校教育室主席指導主事兼高校改革特命課長・福士猛夫氏）②いわての復興教育の推進について（同学校教育室主任指導主事兼復興教育特命課長・松葉覚氏）説明が行われました。

山田高校の小田島哲男事務局長が、生徒の通学にかかる公共交通機関確保への取り組みなどについて説明。福士特命課長は、沿岸被災地の交通環境の改善について「学校の要望があれば、公共交通機関に働きかけていきたい」と述べました。

研究協議のあと、もりおか歴史文化館館長・榎バネット代表取締役社長の畑中美耶子さんから「方言は美しい」という演題で講演をいただきました。



PTA研修 柴田亜衣さんの講習会

昨年3月11日の東日本大震災により、本校の多くの生徒やPTA会員の尊い命が奪われました。また、校舎も甚大な被害を受けたため、大船渡東高校萱中校舎を仮校舎として学校生活が再開され、2年目に入りました。この震災により、全国高P連をはじめ、県内外のPTAから多くの温かいご支援をいただきましたことにあらためて感謝を申し上げます。

おらほのPTA

一丸となり復興 目指した活動を

岩手県立高田高等学校
PTA会長 及川 満伸



昨年3月11日の東日本大震災により、校舎の地理的条件もあり、校舎に集まって情報の交換や親睦を深める機会を設けることができず、以前のような活動を行うことはできませんでした。そんな中、PTA研修として、11月にアテネ五輪競泳女子800m金メダリストの柴田亜衣さんをお招きしての講演会を開催し、大変貴重な時間を過ごすことができました。また、PTA広報は12月と3月にそれぞれ発行し、特にも3月の広報では震災で変化したことについて、多くの会員の声を聞くためにアンケート調査を実施してその内容を掲載するなど、広く会員への情報提供を行うことができました。今後しばらくは、大船渡の地で高田高校の伝統をつなぐことになりませんが、PTA会員、同窓生や市民が期待している陸前高田市への高田高校再建が、一日も早く実現されることを願いながら、PTA一丸となって復興をめざした活動に取り組みしていきたいと思えます。

おらほのPTA

保護者も一緒に 楽しめる企画を

岩手県立一戸高等学校
PTA会長 野里 信友



本校は昨年度、創立100周年を迎えました。校訓「明朗・誠実・進取」のもと総合学科制の特性を生かしたキャリア教育を重視し、推進している学校です。総合学科開科を機につくられた本校独自の創作ダンス「華」は年を追うごとに成長・開花し、全国の舞台も経験できました。また「クラス対抗華一発表会」も今年で9回目。御所野縄文公園での発表は地域の方々や保護者の皆さんに支えられ、生徒たちが若いエネルギーを爆発させて楽しい行事として成長し続けています。

さてPTA活動は、今年度も会員の皆様のご協力で大いに盛り上がりつつあります。6月に行われた春の登校時一声運動は、1年次の保護者を中心に協力者が急増し、3日間で延べ89名(昨年60名)の参加となりました。生徒の登校の様子を見たり、さわやかなあいさつを交わし、子供たちのいい笑顔に出会うことができました。6月末のスポーツ大会では昨年度から母親委員会の方々によります「ドリンクコーナー」の



設置。汗いっぱいの子供たちに、お茶やスポーツ飲料の提供を行いました。毎年、秋の「桜陵祭」では「PTA展」(バルーンアート)の他、母親委員会による「体験試食コーナー」(親父の会による「牛もも肉の丸焼きコーナー」と「餅つき」)を行っています。数年前から「PTA」を「ばつと楽しく遊びましょう」と訳し、保護者自身が楽しめるような企画、運営をして学校を盛り上げていきたいと頑張っています。

編集後記

「雨ニモ負ケズ」で有名な岩手が生んだ詩人で、童話作家の宮沢賢治が1932年に発表した童話「グスコイブドリの伝記」がアニメ映画化され、今夏、一般公開されました。主人公の少年ブドリが「誰かのために何かをしてあげたい」と願い、強く生きてゆく姿に感銘を受けたり、環境問題や家族の大切さなどを考えさせられる素敵な作品ではないかと思えます。▼賢治の作品には「自然」や「命」「愛」「農業」「科学」「哲学」といったキーワードが随所にちりばめられているものが多く、分かりづらい部分もあるわけですが、それをアニメ化することで、いわゆる「ファンタジー」として描かれている点が素晴らしいです。私が花農OBだからといって、決して賢治作品をべた褒めしているわけではありませんので、悪しからず▼ファンタジー映画に限らずいろいろな映画を見て、勇気づけられること、元気づけられること、少なからず得られる熱いエネルギーがあると感じています。みなさんでそのようなエネルギーを寄せ集めて、岩手の復興のために役立つ知恵や行動力に変換することができれば、きっと新しい未来を築いていけるのではないのでしょうか。ぜひ、PTA活動の活性化にもつなげていきたいと思えます。(調査広報副委員長 佐藤道輝)

- 〔編集委員〕調査広報委員会
- 委員長 和賀 匡彦(黒沢尻北)
- 副委員長 佐藤 道輝(花巻農業)
- 委員 田中 真理(盛岡第二)
- 紺野 啓(水沢農業)
- 新沼 英明(大船渡東)
- 〔事務局〕
- 高橋 利幸(黒沢尻北)
- 高橋 秀幸(県高P連)
- 木村 智子(県高P連)